



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日
東

上場会社名 株式会社ワットマン

上場取引所

コード番号 9927

URL <http://www.wattmann.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長
取締役

(氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 経理IRグループ
グループ長

(氏名) 渡邊 匡

TEL 045-959-1100

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,417	3.5	436	△16.3	374	△18.6	392	△16.2	397	44.1
2025年3月期第3四半期	6,200	6.9	521	3.0	460	2.9	468	4.1	275	△4.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 384百万円(47.7%) 2025年3月期第3四半期 260百万円(△7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	45.40	—
2025年3月期第3四半期	31.51	—

(注) EBITDAは、連結営業利益に減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	5,089	3,660	71.9	418.166
2025年3月期	5,087	3,425	67.2	390.60

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,658百万円 2025年3月期 3,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 本日(2026年2月13日)公表の「MBOの実施に関する賛同の意見表明及び応募の推奨に関するお知らせ」及び「2026年2月期配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」のとおり、当社の普通株式に対する公開買付が成立する事を条件に、2026年3月期の配当予想を修正し、2026年3月期の期末配当を行わない旨を決議いたしました。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,050	8.0	827	24.3	740	26.8	738	24.2	498	44.6	56.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 —社（社名）、除外 —社（社名）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	9,094,832株	2025年3月期	9,094,832株
2026年3月期3Q	345,813株	2025年3月期	345,813株
2026年3月期3Q	8,749,019株	2025年3月期3Q	8,749,019株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(1) 既存事業及び新規/撤退事業の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、リユース事業と新品EC事業（ホビーサーチ事業）の2つの小売事業を展開しております。これらの事業を取り巻く市場環境は概ね堅調に推移しておりますが、リユース市場ではインフレ傾向に伴う買取状況や販売状況に不確定要素が多く、今後の市場環境については予断を許さない状況です。また、ホビー市場においては、人気キャラクターやコンテンツ（IP）の動向に加え、米国を中心とした関税措置や海外物流の影響も無視できず、商材のIPの強弱や外部環境の変動が、業績に影響を及ぼす要因となっています。

当社の成長戦略は、こうした市場環境を考慮し、リユース事業における「安定的な成長と確実な利益創出」を図る戦略と、ホビーサーチ事業における「成長」に重点を置いた戦略を両立させることを目指しています。また、当期での成約はありませんが、インオーガニックな成長を実現するための手段として、積極的にM&Aを検討し、案件の情報収集や調査を進めております。

これらの戦略を基盤とし、当社の経営成績に関する具体的な数値を以下に説明いたします。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、リユース事業およびホビーサーチ事業の国内販売がともに堅調に推移したことから、前年同期比3.5%増の64億17百万円となりました。

一方で、ホビーサーチ事業においては、米国の追加関税や北米における配送網の混乱などの影響により海外向け売上が減少し、採算面での悪化が見られました。加えて、本社移転対応やECサイトリニューアル、人員増強、展示会出展など販促活動の拡大に伴い費用が増加したことから、グループ全体では増収ながら経常減益となりました。税金等調整前四半期純利益以下は、一部店舗の退去にともなう特別利益として受取補償金2億14百万円等を計上し増益となりました。

これにより、EBITDAは前年同期比16.3%減の4億36百万円、営業利益は18.6%減の3億74百万円、経常利益は16.2%減の3億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、44.1%増の3億97百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① リユース事業

リユース事業セグメントにおける外部顧客への売上高は、既存店・開閉店ともに好調で前年同期比43百万円増収の39億66百万円（同1.1%増）となりました。セグメント利益は、売上総利益率の改善やタイ現法の営業損失の縮小などにより、前年同期比34百万円増の6億1百万円（同6.0%増）となり、増収増益となりました。

② 新品EC事業(ホビーサーチ事業)

外部顧客への売上高は、米国における追加関税導入等の影響により海外売上高が減少したものの、国内販売が好調に推移したことにより、前年同期比1億73百万円増の24億50百万円（同7.6%増）となりました。一方で、海外販売の減少により採算面での悪化が見られたほか、本社移転やECサイトのリニューアル、人員体制の拡充、販促活動の増加などにより費用が増加し、セグメント利益は前年同期比1億12百万円減の32百万円（同77.4%減）となりました。

既存事業と新規/撤退事業の詳細については「3. その他（1）既存事業及び新規/撤退事業の状況」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、35億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少しております。これは、現金及び預金が1億93百万円減少、売掛金が48百万円、商品が90百万円増加したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、15億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加しております。これは、有形固定資産が43百万円、敷金及び保証金が12百万円増加した一方、無形固定資産が11百万円減少したこと等が主な要因であります。

この結果、総資産は50億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円の増加となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、11億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少しております。これは、買掛金が69百万円、未払法人税等が28百万円、その他流動負債が28百万円、賞与引

当金が19百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少しております。これは、長期借入金が63百万円、資産除去債務が10百万円減少したこと等が主な要因であります。この結果、負債合計は14億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、36億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加しております。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億97百万円計上されたこと、配当金が1億74百万円あったことにより利益剰余金が2億22百万円増加したこと等が主な要因であります。これらの結果、自己資本比率が71.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,854,020	1,660,847
売掛金	244,592	292,943
商品	1,328,567	1,419,542
その他	154,301	170,046
流動資産合計	3,581,483	3,543,378
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	194,934	219,409
土地	382,457	382,457
リース資産(純額)	15,230	13,892
その他(純額)	52,091	72,503
有形固定資産合計	644,713	688,262
無形固定資産		
のれん	188,600	166,838
その他	27,484	37,436
無形固定資産合計	216,084	204,274
投資その他の資産		
投資有価証券	2,374	2,450
敷金及び保証金	431,103	443,207
その他	211,685	207,824
投資その他の資産合計	645,163	653,481
固定資産合計	1,505,960	1,546,019
資産合計	5,087,444	5,089,398
負債の部		
流動負債		
買掛金	379,819	310,580
短期借入金	92,800	92,400
1年内返済予定の長期借入金	103,320	93,320
リース債務	2,197	2,241
賞与引当金	36,760	17,696
契約負債	133,536	146,771
未払法人税等	132,381	104,107
事業整理損失引当金	13,071	-
その他	417,736	389,240
流動負債合計	1,311,624	1,156,357
固定負債		
長期借入金	219,592	156,091
リース債務	14,207	12,521
退職給付に係る負債	51,942	52,846
資産除去債務	48,523	37,934
その他	15,605	13,139
固定負債合計	349,871	272,532
負債合計	1,661,495	1,428,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,483,092	1,508,227
利益剰余金	1,646,248	1,868,545
自己株式	△101,525	△101,525
株主資本合計	3,527,815	3,775,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823	875
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△15,518	△21,851
その他の包括利益累計額合計	△110,421	△116,702
非支配株主持分	8,554	1,962
純資産合計	3,425,948	3,660,507
負債純資産合計	5,087,444	5,089,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,200,941	6,417,220
売上原価	3,352,438	3,609,970
売上総利益	2,848,502	2,807,249
販売費及び一般管理費	2,388,367	2,432,742
営業利益	460,135	374,506
営業外収益		
受取利息	112	1,766
受取配当金	57	58
受取手数料	8,158	7,630
為替差益	3,722	11,136
その他	725	709
営業外収益合計	12,776	21,301
営業外費用		
支払利息	3,860	3,020
その他	248	-
営業外費用合計	4,108	3,020
経常利益	468,802	392,787
特別利益		
受取補償金	2,879	214,599
固定資産売却益	767	-
資産除去債務戻入益	-	2,732
特別利益合計	3,646	217,331
特別損失		
固定資産除却損	88	2,675
事業整理損	-	59
減損損失	39,349	1,754
特別損失合計	39,438	4,489
税金等調整前四半期純利益	433,011	605,629
法人税等	157,315	208,352
四半期純利益	275,695	397,276
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,695	397,276

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	275,695	397,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	52
為替換算調整勘定	△15,407	△12,925
その他の包括利益合計	△15,380	△12,873
四半期包括利益	260,315	384,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268,173	390,995
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,857	△6,591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,923,468	2,277,472	6,200,941	—	6,200,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11	11	—	11
計	3,923,468	2,277,483	6,200,952	—	6,200,952
セグメント利益	567,223	145,303	712,526	—	712,526

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	712,526
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	174
全社費用(注)	△252,565
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	460,135

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース事業」セグメントにおいて収益性が低下した一部事業所の固定資産帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては39,349千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,966,519	2,450,701	6,417,220	—	6,417,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	154	154	—	154
計	3,966,519	2,450,855	6,417,374	—	6,417,374
セグメント利益	601,491	32,902	634,394	—	634,394

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	634,394
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	81
全社費用(注)	△259,969
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	374,506

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース事業」セグメントにおいて収益性が低下した一部事業所の固定資産帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,754千円です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	39,552千円	40,186千円
のれんの償却費	21,761千円	21,761千円

(重要な後発事象)

マネジメント・バイアウト(MBO)の実施

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、以下のとおり、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)(注)の一環として行われるIAPF3株式会社(以下「公開買付者」といいます。)による当社が発行する普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同する意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨する旨を決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により当社株式を非公開化することを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2026年2月13日公表の「MBOの実施に関する賛同の意見表明及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。

3. その他

(1) 既存事業及び新規/撤退事業の状況

1. 売上・売上総利益・販売費及び一般管理費・営業利益実績

当第3四半期連結累計期間における実績は、次のとおりであります。

(単位：千円)

項目	事業区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同期比
売上高	既存事業	5,788,548	6,022,717	4.0%
	新規/撤退事業	412,392	394,503	△4.3%
	売上高合計	6,200,941	6,417,220	3.5%
売上総利益	既存事業	2,612,194	2,580,982	△1.2%
	新規/撤退事業	236,308	226,267	△4.2%
	売上総利益合計	2,848,502	2,807,249	△1.4%
販売費及び一般管理費	既存事業	2,137,009	2,180,232	2.0%
	新規/撤退事業	251,358	252,510	0.5%
	販売費及び一般管理費合計	2,388,367	2,432,742	1.9%
営業利益又は営業損失	既存事業	475,185	400,750	△15.7%
	新規/撤退事業	△15,050	△26,243	74.4%
	営業利益合計	460,135	374,506	△18.6%

- (注) 1 2024年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存事業、その他事業所を新規/撤退事業としております。
2 全社費用等は売上高等を基準に既存事業と新規/撤退事業に配賦しております。
3 のれん償却費はのれん発生源の事業区分に応じて計上しております。
4 グループ会社合計と四半期連結損益計算書のその他差額は既存事業に含めております。